

1. 明治学院大学ボランティアセンター

明治学院白金ボランティアセンター（以下：ボラセン）は、明治学院大学白金校舎の地下1階にひっそりと存在しています。学生が15人もいればいっぱいになるこの小さな部屋で、日々地味に地道に繰り広げられているのは、明治学院大学（以下：明学）と明学生、そして明学周辺地域の繋がりや輪を広げていく活動です。そんなボラセンに魅かれ、足繁く通うのが私たち白金ボランティアセンター・学生スタッフ（以下：学生スタッフ）なのです。

現在ボラセンには6つの学生チームがあり、ボラセンや学外の団体と協力してプロジェクト（以下：=PJ）を運営しています。手作りのアクセサリーでボルネオ島の森とオランウータンの保全に協力している「MG パール」。アート活動を通じて高齢者の新しい魅力を発見する「MG☆SUZU」。明学周辺を散歩しながらお掃除したりペットボトルキャップ回収を行う「COS」。白金地域の方々と交流し、白金の知られざる魅力を紹介する「白金サラダ」。障害者支援に関わる団体や個人を繋ぎ、障害者支援の新しい可能性を探る「山黒」。そして、ボランティアをしている学生の姿をナチュラルに伝えるフリーペーパー制作する「MG natural」の6つです。先にも書きましたが、ほとんどのPJが明学×学生×外部団体（NPOや施設、地域団体など）の3者協働で成り立っており、3者それぞれの強みを生かして力を合わせ、共に創り上げています。

「ボランティアをしてみたい」と来室した学生の多くは、まず6PJのうちのどこかに所属します（どのPJにも当てはまらない新しいジャンルの場合は、PJ作るところから始まります）。PJに入るきっかけは、各PJが企画した説明会やイベントへの参加、HPやチラシを見て…など様々です。PJのメンバーリスト（以下：ML）に登録し、イベントやミーティングに参加したりするメンバーのことを、プロジェクトメンバー（以下：PJメンバー）と呼んでいます。

2. 学生スタッフ

PJメンバーの中でも中心となってPJのマネジメントを行っているのが、学生スタッフと呼ばれ区別されています。

学生スタッフになるには、ボラセンの定めた規約に同意し、登録用紙を提出します。その規約というのは「幽霊部員禁止（意思表示をする）」「ハウレンソウ（報告・連絡・相談）の徹底」という至って基本的なことです。ボラセンに顔を出し、コーディネーターの李さんや他の学生スタッフとこまめにコンタクトをとって情報共有に努める、ということを日々心がけています。学生スタッフのミッションは「人と人を繋ぐ架け橋になる」ことです。自分のフィールドを持ちながらも、他のPJのイベントに参加したり、コラボ企画を考えたりとPJの枠を超えた活動ができるのが魅力です。

ところで、PJと違って学生スタッフには定期的な会議がありません。私たちは、学部も学年もバラバラで、日々PJを運営したり、ほとんどの学生がアルバイトをしたりしている